

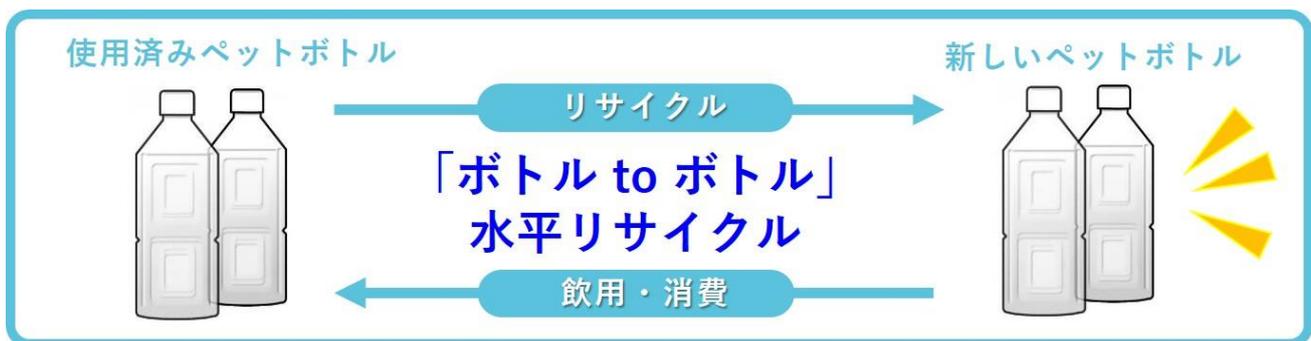
2023年3月10日
株式会社東武ストア

サントリーと東武ストアは 「ボトルtoボトル」の水平リサイクルを開始します

～ 東京都・千葉県・埼玉県を対象に「ペットボトル資源」の循環を促進 ～

株式会社東武ストア（本社：東京都板橋区、代表取締役社長：土金 信彦、以下「当社」）は、サントリー食品インターナショナル株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：齋藤 和弘）と協働し、東京都、千葉県、埼玉県の12店舗において、使用済みペットボトルを回収して新たなペットボトルに生まれ変わらせる「ボトル to ボトル」の水平リサイクル※を、3月10日（金）より開始します。2023年中に約45店舗への拡大を目指します。

※ 使用済み製品を原料として用いて同一種類の製品につくりかえるリサイクルのこと



「ボトル to ボトル」の水平リサイクルとは、お客さまのご協力により集められた使用済みペットボトルを新たなペットボトルに生まれ変わらせるリサイクルのことです。きれいに分別する事で、何度も「ペットボトル」として循環できます。リサイクルすることで限りある資源を大切にまいります。

現在、当社では、環境負荷低減とリサイクル資源の有効活用に寄与することを目的に、使用済みペットボトルの回収をおこなっています。これまでは、店頭で回収したペットボトルは中間処理工場に持込み、選別・粉碎・洗浄し、再生品の原料にしてさまざまな製品にリサイクルしておりましたが、今回の水平リサイクルを行うことで、これまで以上の環境負荷低減、リサイクル資源の有効活用が可能になります。

これからもお客さまの生活の中でリサイクルの見える化を実現し、持続可能な循環型社会の推進に寄与してまいります。

■ 「ボトル to ボトル」の水平リサイクルを促進するための取り組み

東武ストアでは、お客さまの水平リサイクルの取り組みへの参加促進を目的に、売り場と連動した取り組み告知を展開し、「リサイクルの見える化」を推進し、地域のお客様と共に、資源の有効活用を推進します。

「ボトル to ボトル」水平リサイクルとは、飲用後のペットボトルをきれいな原料にして、新しいペットボトルにリサイクルすることです。正しく分別する事で、何度も「ペットボトル」として循環できます。

「ペットボトル」が「ペットボトル」に生まれ変わる

Bottle to Bottle

水平リサイクルすることで、化石燃料の燃焼削減、二酸化炭素削減の効果が期待できます。

東武ストアでは「ボトル to ボトル」の取り組みを推進しています

飲み終わった後のペットボトルは新しいペットボトルにリサイクル!

サントリーでは2030年までに、商品に使用するペットボトルの原料を、リサイクル素材あるいは植物由来素材のみに切り替えた「100%サステナブルボトル」の使用を目指します。

「ボトル to ボトル」水平リサイクルへの取り組み

東武ストアでは「ボトル to ボトル」の取り組みを推進しています

<サントリー食品インターナショナル株式会社>

サントリー食品インターナショナルは、「サントリー天然水」「BOSS」などのロングセラーブランドを中心に、清涼飲料、健康食品など多岐にわたる事業を展開。2030年目標として、全てのペットボトルに、“リサイクル素材あるいは植物由来素材のみを使用し、化石由来原料の新規使用をゼロにする”という「ペットボトルの100%サステナブル化」実現を目指しています。

株式会社東武ストア 〒174-0076 東京都板橋区上板橋 3-1-1
 お問い合わせ： 人事・総務部 TEL 03-5922-5111 FAX 03-5398-1891